

令和元年度 中学校英語スピーキングテスト プレテストの結果について

1 中学校英語スピーキングテスト事業

(1) 実施目的及び実施スキーム

中学生のスピーキング能力を把握するため、都教委と事業者が協定を締結し、都教委監修の下に作成した問題により、新たなスピーキングテストを共同で実施

(2) 導入までのスケジュール

平成30年度 フィービリティ調査：8校（抽出校）約1,000人
 ↓
令和元年度 プレテスト：77校（抽出校）約8,000人
 ↓
 令和2年度 確認プレテスト：都内公立中学校全校 約80,000人
 ↓
 令和3年度 中学校英語スピーキングテスト：都内公立中学校第3学年全生徒
 ※ 入学者選抜に活用（予定）

2 プレテスト概要

(1) 期間

令和元年11月7日（木）から12月21日（土）まで

(2) 対象

77校 約8,000人（全62区市町村ごとに1校以上実施）

(3) 会場数

中学校 75、外部 2（都立高校1会場、民間施設1会場）

(4) 実施方式

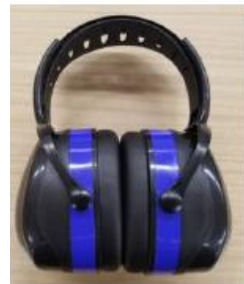
タブレット端末、イヤホンマイク、防音用イヤーマフを使用し、解答音声を録音する方式（前半と後半の2組に分け、交代で実施）



↑ タブレット端末



↑ イヤホンマイク



↑ イヤーマフ

3 スピーキングテストの内容

(1) 出題形式と評価の観点

Part	出題数	出題形式と測定する能力	評価の観点（※）		
			ア コミュニケーションの達成度（2段階）	イ 言語使用（5段階）	ウ 発音・流ちょうさ（4段階）
A	2	英文を読み上げる形式の問題で状況や英文を理解した上で、正確な発音と適切な流ちょうさで音読ができる力を見る	/	/	○
B	4	図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力を見る	○	/	/
C	1	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を見る	○	○	○
D	1	身近なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を伝える力を見る	○	○	○

※評価の観点

ア コミュニケーションの達成度

… 事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

イ 言語使用

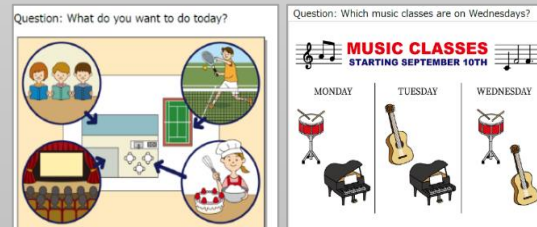
… 語彙、表現、文法、言語の働きなどを正しく活用できる。さらに、内容を順序立てて伝えることができる。

ウ 発音・流ちょうさ

… 英語の音声の特徴を捉え、正しく発音することができる。

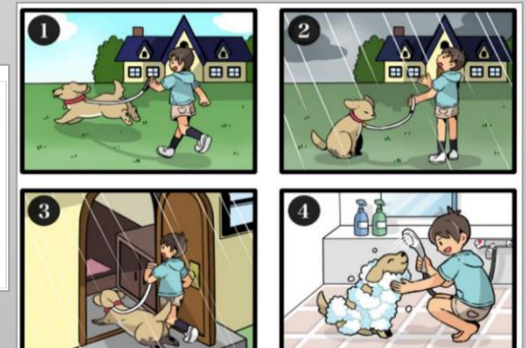
問題（一部抜粋）

Part B（質問に応答する）



※このテスト問題及びそれに付随する採点基準・解答例の著作権は、試験実施団体に帰属します。

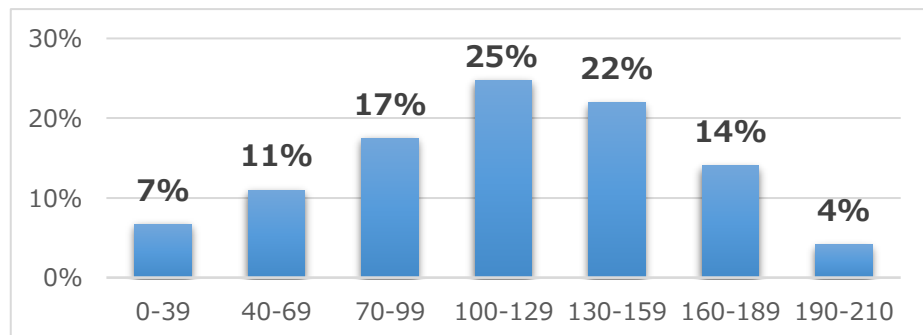
Part C（状況を説明する）



4 スピーキングテストの結果

(1) 概要 平均スコア **114.4/210**

(2) スコア度数分布



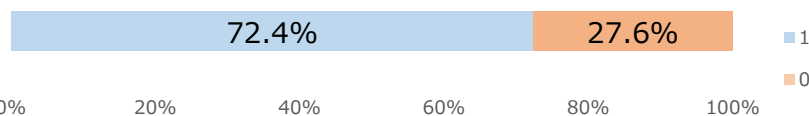
(参考) 英検

3級

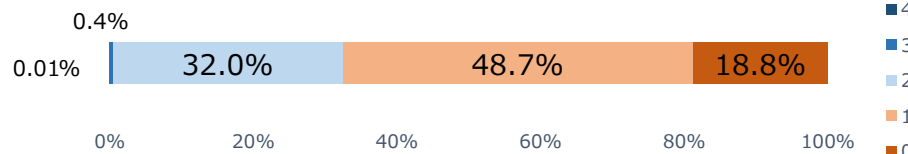
準2級

(3) 観点別達成度

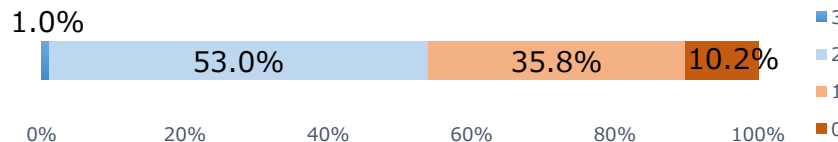
ア コミュニケーションの達成度



イ 言語使用



ウ 発音・流ちょうさ



(4) 結果返却

受験者には得点及び学習アドバイス等、実施校・区市町村教育委員会には得点結果データ等を返却

5 検証結果及び今後の取組

(1) 検証結果

○ 出題内容

中学校学習指導要領及び東京都の出題方針に基づき監修を行い、適切な問題を出題した。また、受験者の能力を適正に評価することができた。

● 運営

事前準備の説明が複数の方法（掲示、口頭、紙面）に分かれており、煩雑だった。

(2) 今後の取組

取組① 本実施に向けた事業の改善

☆ スピーキングテストの内容の更なる改善
⇒ 本格実施を見据えた出題内容等の検討

☆ 実施・運営方法の更なる改善
⇒ タブレット端末のプログラム改良
⇒ 外部会場での円滑な実施・運営

取組② 中学校での活用

☆ 4 技能育成に向けた授業改善
⇒ 中学校3年間を見通した指導計画の改善
⇒ 都教委が作成した指導資料・映像資料の活用